

# 沿岸定線観測速報 ちば (2024年4月)

千葉丸：4月7～8, 14～15日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和6年4月22日

黒潮は、房総沖を接岸して流れていました(図2)。  
水温は、概ね平年よりやや高めでした(表1)。

## 【詳細】

沿岸水温は、銚子・九十九里海域の水深50m以外は、平年よりやや高めでした(表1)。

水深10,100,200mでは岸から沖へ向けて顕著な潮目が形成されていました(図3)。鉛直的にみると、犬吠埼沖の陸棚斜面付近(水深300~400m)に、6℃以下、34.0PSU以下の低温低塩分が見られました(図5)。また、九十九里沖の大陸棚付近(水深100~150m)にも、12℃以下、34.4PSUのやや低温低塩分が見られました。

黒潮は、小さく蛇行しながら、接岸して房総沖を北東へ流れていました。また、黒潮流軸~北縁付近では北東へ向かう2~3ノットの潮が見られました(図2)。

クロロフィル濃度は、水深10,50mいずれも黒潮流路(図2)付近は低く、その灘側と沖側がそれよりやや高めでした(図7)。

勝浦沖のキンメダイ漁場は、例年より高温高塩分でした(概ね2~3℃, 0.1PSU前後高め, 図8)。

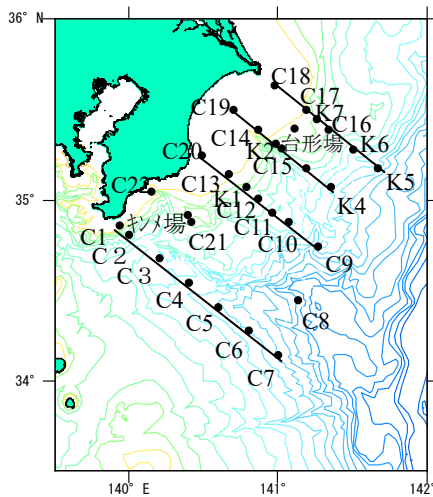


図1 調査点(台形場は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島崎南東線

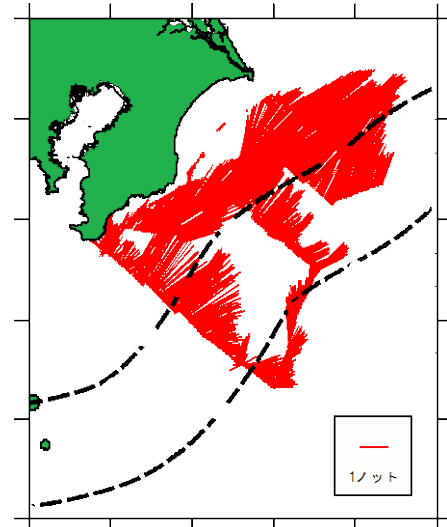


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	18.0 やや高め	17.1 平年並	16.3 やや高め	15.2 やや高め
外房	18.8 やや高め	18.0 やや高め	17.1 やや高め	15.4 やや高め

\*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14~20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

\*沿岸水温評価の目安(σ:標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ ~
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ
平年並	0.0 σ ~ 0.6 σ, -0.6 σ ~ 0.0 σ
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ~

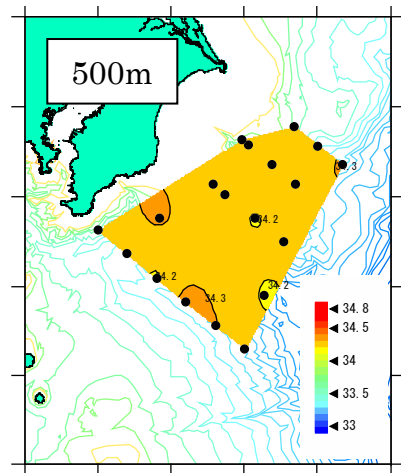
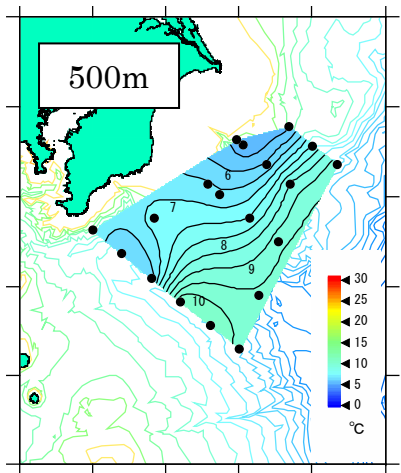
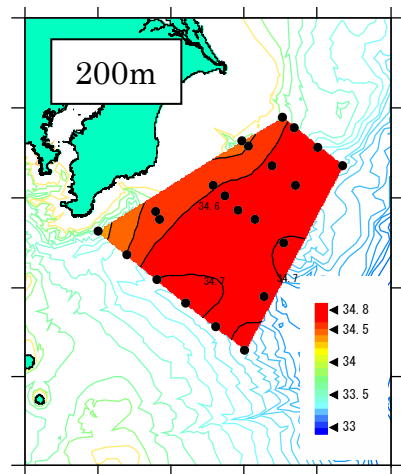
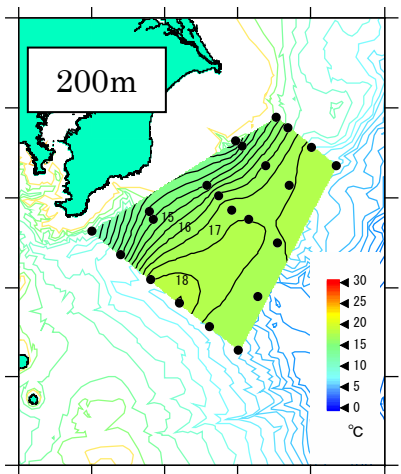
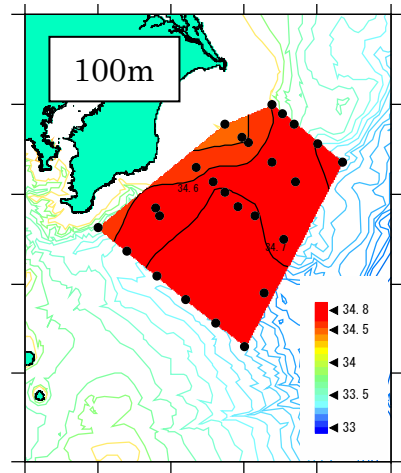
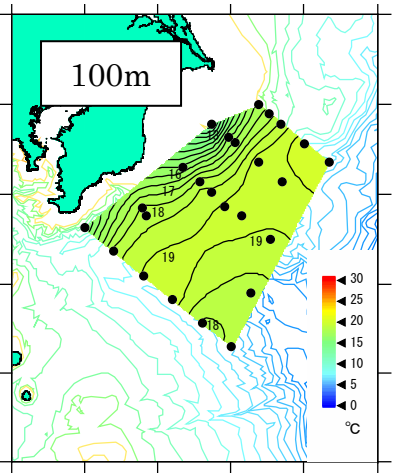
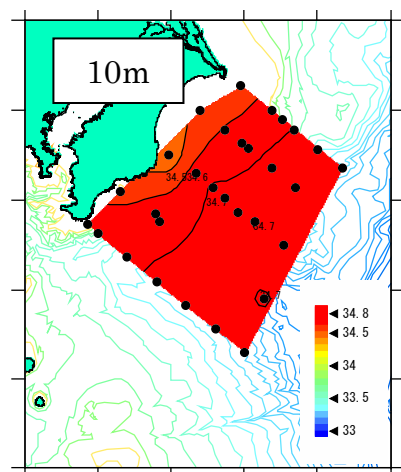
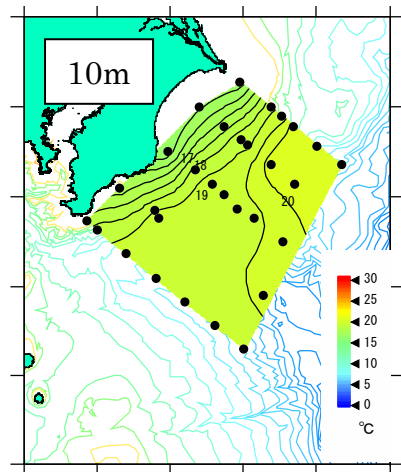


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

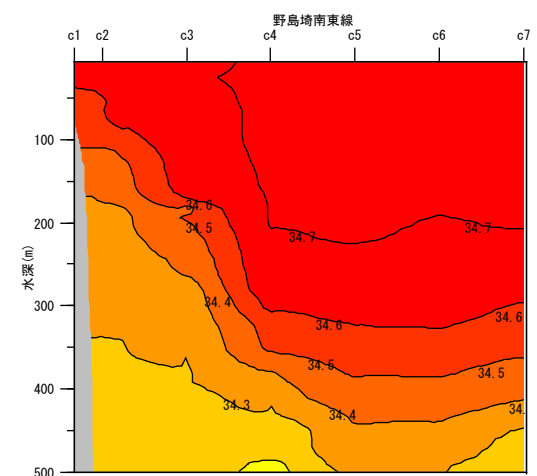
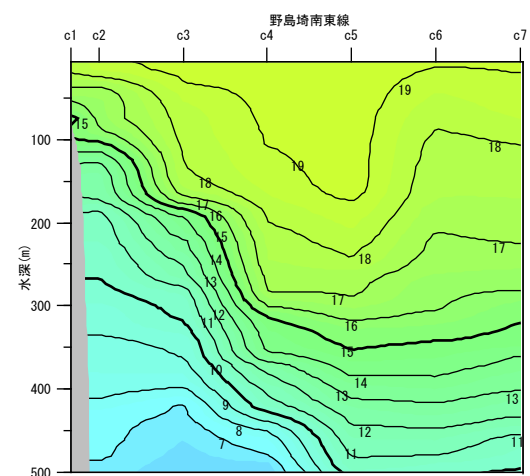
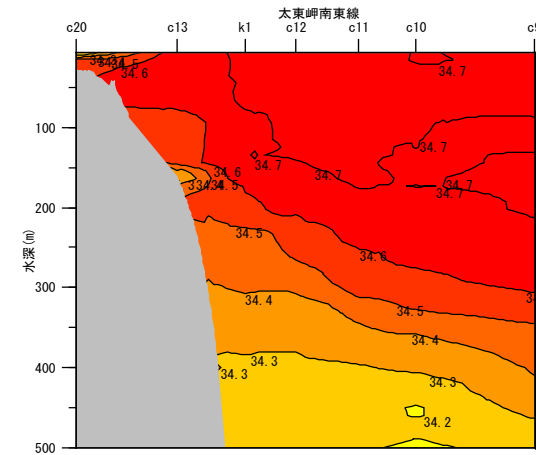
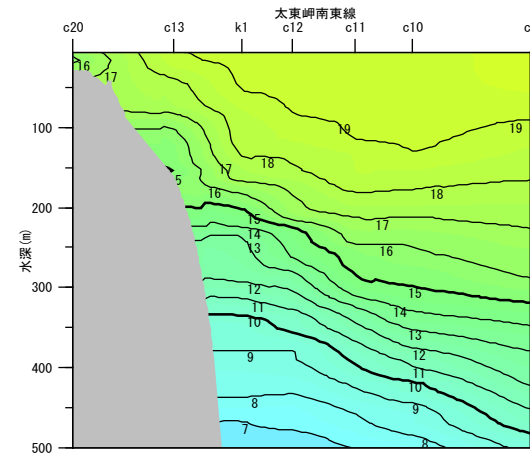
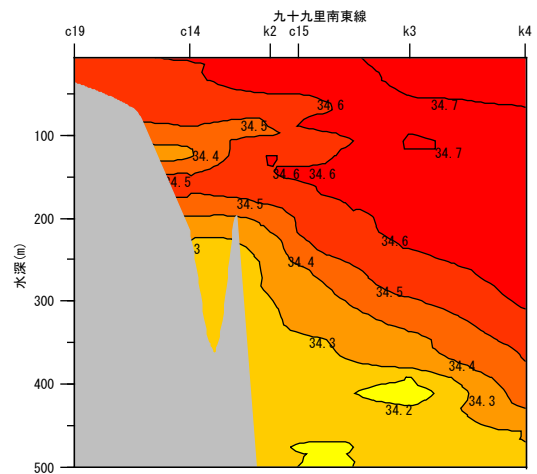
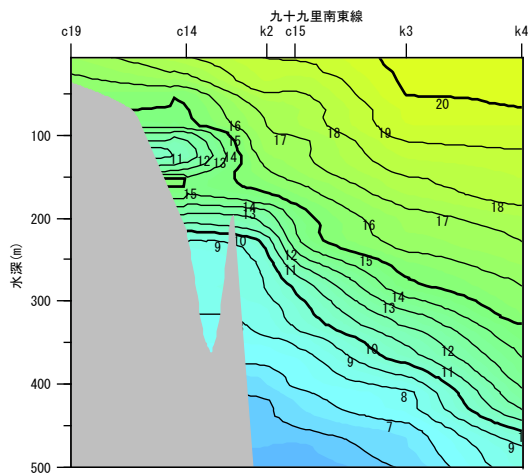
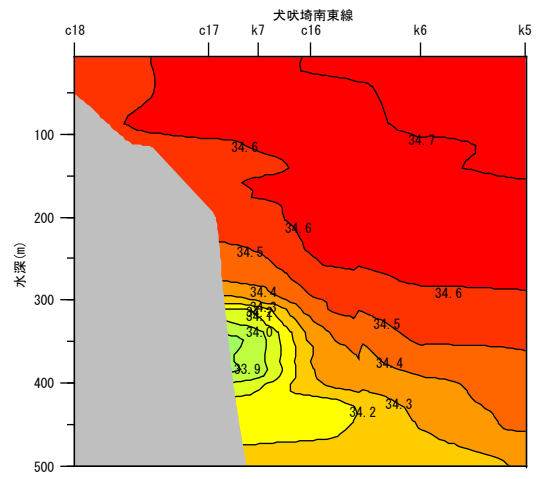
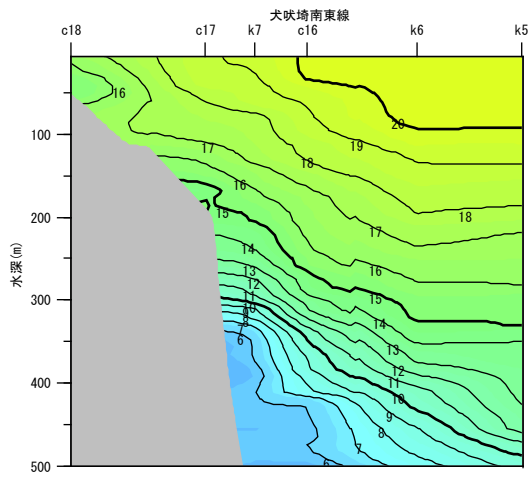


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

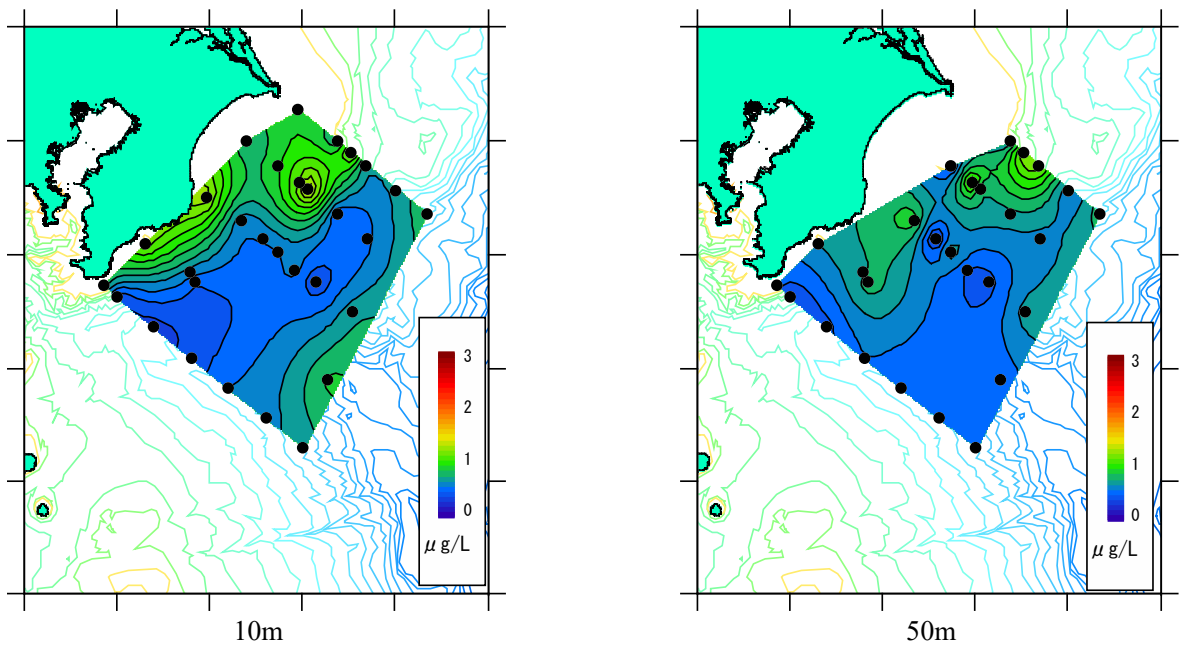


図7 水深別のクロロフィル分布（単位： $\mu\text{g/L}$ ）

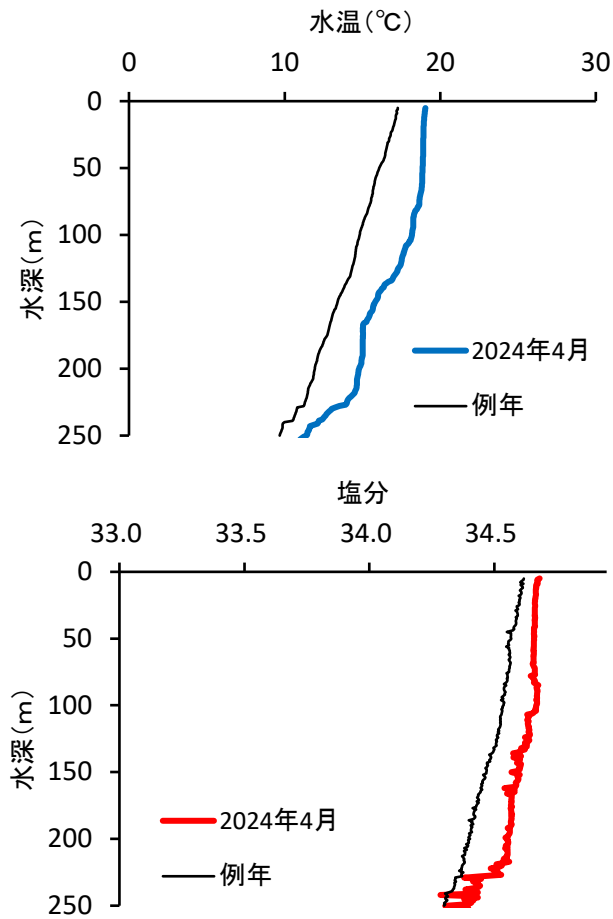


図8 勝浦沖キンメダイ漁場の水温，塩分鉛直分布（青：水温，赤：塩分）

<資料> 関東・東海海況速報改変（図2；4月8日分）